

千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第40週 (10/2-10/8) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	定点	40週	39週	38週	37週	
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数 「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数	小児科	18	18	18	18	*正式名称は インフルエンザ/COVID-19定点
	眼科	5	5	5	5	
	*インフル/COVID	28	28	28	28	
	基幹	1	1	1	1	

定点	感染症名	注意報	千		葉		市		千葉県
			10/2-10/8	9/25-10/1	9/18-9/24	9/11-9/17	9/25-10/1		
			40週	39週	38週	37週	39週		
小児科	RSウイルス感染症		1	3	4	2	3		
	咽頭結膜熱		15	12	6	11	199		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	37	31	16	27	277		
	感染性胃腸炎	→	98	94	80	92	420		
	水痘		1	5	0	0	7		
	手足口病	↓↓	37	57	36	24	302		
	伝染性紅斑		0	2	0	0	2		
	突発性発しん		2	11	6	5	35		
	ヘルパンギーナ		6	6	0	15	51		
	流行性耳下腺炎		2	2	1	1	6		
*インフル/COVID	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	★→	369	367	269	334	3,991		
	新型コロナウイルス感染症	↓↓	111	169	229	410	2,165		
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0		
	流行性角結膜炎	◎	5	1	0	3	29		
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0		
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1		
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎		0	1	0	0	2		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0		

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

2 全数報告対象疾患: 8 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査	腸管出血性大腸菌感染症	男性	10歳未満	血清でのO抗原凝集抗体の検出
	女性	30歳代	病原体等の検出等				
	女性	50歳代	病原体等の検出	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	男性	70歳代	細菌の分離・同定、薬剤耐性の確認及び起因菌の判定
	女性	60歳代	IGRA検査				
	男性	80歳代	病原体等の検出	梅毒	男性	40歳代	血清抗体の検出

・第40週は、結核5例(81)、腸管出血性大腸菌感染症1例(23)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1例(23)、梅毒1例(57)の発生届があった。

※ ()内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第40週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週よりやや増加し2.06となった。過去10年の同時期と比べると最多のままで、年齢階級別の報告数は6歳及び7歳で最多。区別では、稲毛区(4.67)が最多で7歳及び9歳の報告が最も多かった。

<感染性胃腸炎>

前週からほぼ横ばいで5.44となった。過去10年の同時期と比べると最多のままで、年齢階級別の報告数は5歳で最多。区別では、緑区(13.75)が最多で3歳の報告が最も多かった。

<手足口病>

前週より減少し2.06となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルで、年齢階級別の報告数は2歳及び3歳で最多。区別では中央区(3.67)が最多で2歳及び3歳の報告が最も多かった。

<インフルエンザ>

前週からほぼ横ばいで13.18となった。流行発生注意報基準値(10.0)を上回ったままであり、過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は10-14歳で最多で、10歳未満では8歳で最多。区別では中央区(22.20)が流行発生注意報基準値を上回り最多で15-19歳の報告が最も多かった。他に緑区(17.80)、稲毛区(11.50)及び若葉区(10.75)が流行発生注意報基準値を上回った。

<新型コロナウイルス感染症>

前週より減少し3.96となった。年齢階級別の報告数は50歳代で最多。区別では、中央区(10.80)からの報告が最多で50歳代の報告が最も多かった。

<流行性角結膜炎>

前週より増加し1.00となった。過去10年の同時期と比べると多めで、年齢階級別の報告数は15-19歳で最多。区別では中央区及び美浜区(共に2.00)が最多で、中央区は15-19歳及び40歳代、美浜区は3歳及び15-19歳の報告が最も多かった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2023.pdf